第5回

全日本実業団剣道大会

と　き　昭和37年9月23日(日)午前9時開始
ところ　大阪市立中央体育館

主　催　全日本実業団剣道連盟
主　管　関西実業団剣道連盟
後　援　朝日新聞社
　　　　全日本剣道連盟
　　　　大阪府剣道連盟

大会次第

◇開会式……………（九〇〇・〜九・四〇）

1 役員選手入場・整列
2 開会の辞（武藤理事長）
3 国旗掲揚（国歌斉唱）
4 優勝旗・総理大臣杯の返還
5 レプリカ授与
6 大会々長挨拶
7 来賓祝辞
8 審判長注意（持田範士）
9 選手宣誓
10 役員・選手着席
11 **日本剣道形**（津崎範士・越川範士）
12 選手退場

◇演武…………（九・五〇〜一六・三〇）

1 試合一・二回戦（6試合場）（九・五〇〜一三・一〇）
2 **居合**（野田副会長）
3 試合三・四・五回戦（4試合場）（一三・三〇〜一五・五〇）
4 試合準決勝戦（2試合場）（一五・五〇〜一六・一〇）
5 試合決勝戦（1試合場）（一六・一〇〜一六・三〇）

◇閉会式…………（一六・四〇〜一七・一〇）

1 役員選手入場・整列
2 成績発表
3 表彰
　＊優勝旗・総理大臣杯の授与
　＊全剣連会長杯授与
　＊朝日新聞社賞授与
　＊石本杯の授与（本連盟副会長、故石本広一氏の御遺族より記念に贈られた賞）
4 挨拶
5 万才三唱
6 国旗降下
7 閉会の辞（武藤理事長）
8 退場

第五回 全日本実業団剣道大会
御盛会を祈ります

総合保健薬 **仁丹**…スポーツの疲れをふきとばす清涼感と薬効
仁丹体温計…優秀な品質の仁丹体温計で正確な検温を
仁丹歯磨…清潔な笑顔の魅力は虫歯を防ぐ仁丹歯磨から
仁丹ガム…おいしさだけではありません　新鮮な香りが魅力

仁丹

森下仁丹株式会社
仁丹体温計株式会社

社長 森 下 泰

挨拶

全日本実業団剣道連盟

会長

全日本実業団剣道連盟も結成後第五年を迎え、茲に再び大阪に於て、第五回全国大会を盛大に開催することを得ましたことは、誠に御同慶の至りであり、欣懐に堪えぬ次第であります。

これ偏えに、全会員の熱心の結実であり、役職員の努力の精華でありますが、特に地元に於ける関係各位の絶大なる御協力によるものであることを、厚く感謝致しますと共に、更にこの大会を光輝あらしめた後援者として、全日本剣道連盟、朝日新聞社、及び大阪府剣道連盟に対し深甚なる謝意を捧げる次第であります。

終戦後凡ての誇りを投げすてて、虚脱状態にまで堕ちた日本人も、最近漸く自覚を取り戻し、政府も人づくりの重要性を大きく認めるに至ったことは、嬉しいことであります。

今後世界の舞台に於て、優位を保ってゆく為には、日本民族が先祖以来誇りとして鍛え上げて来た「日本人の心」を以て土台とすべきは論を俟たぬ所であります。

実業団の剣道人は、産業立国を以て唯一の活路とする、国策の第一線に立つ選手であると同時に、その属する団体、業界の人心をして、世界に誇るべき日本的なものに転化させる中心的存在としての使命を負って居ることを忘れてはなりません。

実業人の剣道は技の末端に走るべきものではなく、その目的は強い日本の心を作り上げることにあります。

然らば即ち、

㈠ あらゆる思慮と行動に、常に礼儀を忘れぬこと。

㈡ 如何なる難事をも怖れず、常に真正面から当って、自らの力を尽し、自らを試すこと。

㈢ 小我を去って、常に大局を観察し、他力に犯されぬ静かな心を作り上げること。

㈣ 機に臨んで神速果断、しかも正確な決断力を養うこと。

の四項目は、特に実業人の剣道修行の日常の目的とすべきであります。且つ又、これこそ、他の運動スポーツの類が持つことを得ず、ひとり剣道のみが之を持つ所の、いわゆる「終生に亘る修行の楽しみ」であり、「人間づくり」の醍醐味であります。

この意味に於て、日本人は、今から大いに剣道を学んで、日本民族を強化すべきであり、その中核となるべきは、我々社会人の剣道修行者であることを自覚せねばならぬと思います。

最後に一言お詫びを申し上げます。実は小生事、是非共当大会に出席して、親しく諸君の英姿に接し、日頃鍛練の精華を拝見致すつもりでおりました所、拠処なく外国旅行をせねばならぬこととなり、出席致し兼ねる次第で、誠に申訳なく存じております。然し幸いに副会長各位の御許しを得て、大会運営の一切を御引受け願いましたので、安心して行って参ります。

何卒平素鍛練の実を十二分に示し、全国に亘る同志交歓結集の実を挙げて、本大会の意義を高からしめられます様念願して、御挨拶と致します。

大会役員

【順不同・敬称略】

名誉顧問

内閣総理大臣 池田勇人
全日本剣道連盟会長 木村篤太郎
全日本学生剣道連盟会長 笹森順造
東洋レーヨン株式会社 相談役 辛島浅彦
朝日新聞社 取締役社長 村山長挙

大会々長

全日本実業団剣道連盟会長
第一生命保険相互会社 会長 矢野一郎

大会副会長

阪急百貨店株式会社 取締役社長 野田孝
住友化学工業株式会社 専務取締役 大谷一雄
三菱地所株式会社 取締役副社長 宮田正男
三菱養和会 理事長 武藤秀三
名古屋鉄道株式会社 取締役社長 土川元夫
南海放送株式会社 取締役社長 山中義貞
日本軽金属株式会社 取締役社長 安田幾久男
雪印乳業株式会社 取締役社長 佐藤貢
日本鉱業株式会社 専務取締役 河合尭晴
株式会社服部時計店 取締役 服部武三郎
株式会社三井銀行 常務取締役 児玉幸蔵
小西酒造株式会社 専務取締役 白井貫二
森下仁丹株式会社 取締役社長 森下泰
大辻炭礦株式会社 取締役 小沢親光

大会顧問

【順不同・敬称略】

朝日新聞東京本社 取締役代表 矢島八州男
朝日新聞大阪本社 取締役代表 増田豊彦
大阪府知事 左藤義詮
大阪市市長 中井光次
大阪商工会議所会頭 小田原大造
大阪府警察本部長 山本幸雄
関西経済連合会会長 大田垣士郎
関西経営者協会会長 松原与三松
大阪府体育連盟会長 春日弘
関西国連協会事務局長 和崎嘉之
朝日生命保険相互会社 取締役会長 藤川博
朝日石綿工業株式会社 取締役社長 近藤進一郎
旭化成工業株式会社 常務取締役 中沢五郎
石川島播磨重工業株式会社 取締役社長 土光敏夫
伊藤忠商事株式会社 取締役社長 越後正一
揖斐川電工株式会社 取締役社長 須崎潔
宇部興産株式会社 取締役社長 中安閑一
NBC呉造船株式会社 取締役 佐野武吉
川崎製鉄株式会社 取締役社長 西山弥太郎
川鉄建材株式会社 取締役社長 松村守一
鹿島建設株式会社 取締役社長 鹿島卯女
九州電力株式会社 取締役社長 赤羽善治
九州産業交通株式会社 取締役社長 岡力男
菊水テープ製造株式会社 取締役社長 西沢利雄
久保田鉄工株式会社 取締役社長 小田原大造
倉敷レーヨン株式会社岡山工場 取締役工場長 加藤哲弥
京阪神急行電鉄株式会社 取締役社長 小林米三
小西酒造株式会社 取締役社長 小西輝也
株式会社神戸製鋼所 取締役社長 外島健吉
株式会社神戸銀行 頭取 岡崎忠
江商株式会社 取締役社長 桑原喜代蔵
新三菱重工業株式会社神戸造船所 取締役所長 佐藤孝夫
新三菱重工業株式会社名古屋製作所 取締役所長 久保富夫
シモン皮革株式会社 取締役社長 利岡和人
株式会社島津製作所 取締役社長 鈴木庸輔

株式会社四国自動車部品商会 取締役社長 白石重保
敷島紡績株式会社 取締役社長 室賀国威
住友海上火災保険株式会社 取締役会長 花崎利義
株式会社杉田製線工場 取締役社長 杉田与次郎
株式会社鈴江農機製作所 取締役社長 鈴江三衷
大成建設株式会社 取締役社長 宮原英雄
大成建設株式会社 取締役社長 水嶋篤次
第一生命保険相互会社 取締役社長 浜口吉兵衛
株式会社高島屋 取締役社長 飯田新一
高崎製紙株式会社 取締役社長 黒崎義平
武田薬品工業株式会社 取締役社長 武田長兵衛
千代田化工建設株式会社 取締役社長 玉置明善
東洋レーヨン株式会社 取締役会長 田代茂樹
東洋レーヨン株式会社 取締役社長 森広三郎
東京芝浦電気株式会社 取締役社長 岩下文雄
東京電力株式会社 常務取締役 笹森健三
株式会社東横百貨店 常務取締役 狩谷幸知
トヨタ自動車工業株式会社 取締役社長 中川不器男
凸版印刷株式会社 取締役 幾島英二
南海電気鉄道株式会社 監査役 橘真琴
南光特殊印刷株式会社 取締役社長 市川嘉一
日本生命保険相互会社 取締役社長 弘世現
日本通運株式会社 取締役社長 福島敏行
日本火災海上保険株式会社 取締役社長 亀山甚
株式会社西日本相互銀行 頭取 東令三郎
株式会社日本製鋼所広島製作所 所長 丸孝
日本郵船株式会社 取締役社長 児玉忠康
株式会社日立製作所 取締役社長 駒井健一郎
株式会社P・L・ゴルフ場 取締役社長 御木道正
株式会社藤田組 取締役社長 藤田一暁
株式会社平和相互銀行 取締役社長 小宮山英蔵
丸善石油株式会社 取締役社長 和田完二
松下電器産業株式会社 常務取締役 小川銀
三井鉱山株式会社田川鉱業所 取締役所長 宇井一郎
三井鉱山株式会社三池鉱業所 取締役所長 若林寿雄
三菱化成工業株式会社 取締役社長 柴田周吉
三菱化成株式会社黒崎工場 取締役工場長 岩崎郁夫
三菱商事株式会社 取締役社長 荘清彦
三菱造船株式会社 取締役社長 佐藤尚
株式会社名鉄百貨店 取締役社長 藍川清英
八幡製鉄株式会社 取締役社長 稲山嘉寛
八幡製鉄株式会社光製鉄所 所長 西郷吉郎
安田火災海上保険株式会社 取締役社長 檜垣文市
安田生命保険相互会社 取締役社長 竹村吉衛門
山一証券株式会社 取締役社長 大神一
横浜護謨製造株式会社 取締役社長 尾山和勇
全日本剣道連盟副会長 植竹春彦
全日本剣道連盟副会長 赤城宗徳
全日本剣道連盟副会長 佐藤貢
全日本剣道連盟理事長 庄子宗光
関東学校剣道連盟会長 岡本昌智
剣道範士十段 中野宗助
剣道範士十段 持田盛二
剣道範士十段 斎村五郎
剣道範士十段 大麻勇次
全日本剣道連盟常任理事 斎藤寛
全日本剣道連盟常任理事 伊藤京逸
全日本剣道連盟常任理事 大島功
全日本剣道連盟常任理事 渡辺敏雄
全日本剣道連盟常任理事 佐藤顕
全日本剣道連盟常任理事 小野沢知雄

大会参与

朝日新聞大阪本社 企画部長 勝村泰三
朝日新聞大阪本社 運動部長 辻富士夫
朝日新聞東京本社 企画部長 衣奈多喜男
朝日新聞東京本社 運動部長 杉森一
朝日新聞大阪本社 元剣道部長 畠利雄
朝日新聞東京本社 元剣道部長 伊藤条三
千代田化工建設株式会社 常務取締役 室井正基
大成建設株式会社 常務監査役 鈴木孝太郎
東洋レーヨン株式会社 総務部長 桂弘
三菱化成工業(株)黒崎工場 次長 林規
東京芝浦電気株式会社 鶴見工場長 押原一郎
川鉄商事株式会社 常務取締役 松本敏夫
川鉄建材株式会社 常務取締役 島田喜一郎
上田鉱業株式会社大阪支店長 取締役 山口安男
心臓血管研究所 常務理事 谷徹
朝日生命保険相互会社 研修所長 山本欽次
日本鉱業株式会社 総務部長 佐々木陽信
三菱モンサント化成株式会社 大阪支店長 星野一雄
安田火災海上保険株式会社 新種業務課長 榎本和男
株式会社 名鉄百貨店 営業部長 森田茂
阪急百貨店株式会社 営業部長 仲井巌
大阪府教育委員会教育長 鎌田庄蔵
大阪市教育委員会教育長 中尾正平
大阪府警察本部教養課長 中川敬
大阪府保険体育課長 岩井邦利
全日本学校剣道連盟理事長 井上正孝
大阪市市立中央体育館々長 上嶋芳武
大阪府剣道連盟剣道範士 吉田誠宏
大阪府剣道連盟剣道範士 原田賢蔵
株式会社 光工芸社 取締役社長 額田長
伊藤自動車貿易株式会社 取締役社長 伊藤博円
大阪瓦斯器具株式会社 取締役社長 松下武男

審判員

審判長 剣道範士十段 持田盛二
審判主任 剣道範士九段 宮崎茂三郎
〃 剣道範士九段 近藤知善
〃 剣道範士九段 津崎兼敬
〃 剣道範士九段 越川秀之介
〃 剣道範士九段 東山健之助
〃 剣道範士九段 大森小四郎
審判員 剣道範士九段 三角卯三郎
〃 剣道範士九段 田中知一
〃 剣道範士八段 黒住竜四郎
〃 剣道範士八段 堀口清
〃 剣道範士八段 清水誓一郎
〃 剣道範士八段 小川政之
〃 剣道範士八段 指宿鉄盛
〃 剣道範士八段 斉藤正利
〃 剣道範士八段 荘司源吉
〃 剣道範士八段 佐々木季邦
〃 剣道範士八段 高橋忠雄
〃 剣道範士八段 池田孝
〃 剣道教士八段 長谷川寿
〃 剣道教士八段 長田為吉
〃 剣道教士八段 梶川巌
〃 剣道教士八段 土田博吉
〃 剣道教士八段 六反田俊雄
〃 剣道教士八段 坂本吉郎
〃 剣道教士七段 川上徳蔵
〃 剣道教士七段 乙藤春雄
〃 剣道教士七段 崎本武志
〃 剣道教士七段 池田呑
〃 剣道教士七段 小林嶺造
〃 剣道教士七段 岸本政一
〃 剣道教士七段 井坂賢一郎
〃 剣道教士七段 池田勇次
〃 剣道教士七段 植田一
〃 剣道教士七段 杉江憲
〃 剣道教士七段 竹原省吾
〃 剣道教士七段 中尾巌
〃 剣道教士七段 緒方敬義
〃 剣道教士七段 近藤利雄
〃 剣道教士七段 岡本亮三
〃 剣道教士七段 小川正亮
〃 剣道教士七段 島田喜一郎
〃 剣道教士七段 中根平治
〃 剣道教士七段 中村太郎
〃 剣道教士七段 大平康
〃 剣道教士七段 阿部三郎
〃 剣道教士七段 小森園正雄

大会委員

委員長

全日本実業団剣道連盟理事長 武藤秀三

副委員長

森下仁丹株式会社 取締役社長 森下泰
川鉄商事株式会社 常務取締役 松本敏夫

委員

全日本実業団剣道連盟幹事 谷徹
阪急百貨店株式会社営業部長 仲井巌
朝日新聞大阪本社企画部次長 井之丸喜久蔵
朝日新聞大阪本社企画部次長 近藤忠二
朝日新聞大阪本社企画部 中上秀一
朝日新聞大阪本社企画部 橋本清
朝日新聞東京本社企画部 黒川哲夫
大阪府剣道連盟事業部長 山口安男
大阪府剣道連盟事務局長 高見縁般
大阪府警察本部剣道師範 小林嶺造
大阪府警察本部剣道師範 岸本政一
全日本実業団剣道連盟事務局長 山本孝行

大会実行委員

◇運営委員長 山本孝行
委員 森弘
委員 安原守規
委員 秋岡隆
委員 前田和宏
委員 西善延
委員 服部四郎
◇庶務委員長 高見縁般
委員 宇都武夫
委員 川口一孝
委員 前田勝二郎
委員 松川武堂
委員 名剣要一
委員 出口哲郎
委員 有馬三史
※右の他薙刀及び女子剣友会員六名

◇競技委員長
Aブロック(1・2・5試合場) 小林嶺造
Bブロック(3・4・6試合場) 岸本政一
第1試合場 主任 立山文雄
係員 大学・高校生剣道部員七名
第2試合場 主任 草田嘉徳
係員 大学・高校生剣道部員七名
第3試合場 主任 唐木義夫
係員 大学・高校生剣道部員七名
第4試合場 主任 野間口隼人
係員 大学・高校生剣道部員七名
第5試合場 主任 岩橋秀雄
係員 大学・高校生剣道部員七名
第6試合場 主任 地頭江徹郎
係員 大学・高校生剣道部員七名

一・二回戦は6試合場に別れて、三・四・五回戦は4試合場に別れて試合を行なう。従って第1・第2・第5試合場は小林競技委員長の指揮に入り、第3・第4・第6試合場は岸本委員長の指揮下にはいる。尚各試合場の主任は選手係・採点掲示係・時計係・記録係を掌握する。
係員の氏名は略す

のびゆく…
みなさまの 第一生命
●第一生命は、明治35年9月に創立者矢野恒太の主唱によって、わが国最初の相互組織の会社として設立されました。社名の「第一」という名は「最初の」という意味であります。
●その後今日まで60年、「社員」であるご契約者みなさまの利益を第一として、「量より質」「確実 低廉 親切」を標語として経営してまいりました。
さいわい、みなさまのご理解とご支援をいただき、業績は発展の一途をたどっております。
●昭和36年度も、きわめて好調な業績をあげ、本年度は、剰余金のうちから79億2,646万円を配当準備金に繰入れました。
その結果、本年度の正味掛金はさらにお安くなりました。
東京都千代田区有楽町 第一生命保険相互会社

栄冠を目指して

鎬を削る精鋭

88チームの横顔

東洋レーヨン（名古屋）

監督	七段	角 弘一	50
大将	六段	松本 敏夫	34
副将	五段	斎藤 豊	23
中堅	四段	松本 武	24
次鋒	三段	坂柳 昭夫	20
先鋒	四段	新見 健一	22
補欠	四段	土井 隆司	22

日本火災海上

監督	三段	星野 光男	39
大将	七教	吉田 忠幸	46
副将	四段	井上 勉	22
中堅	四段	早野 慎三	32
次鋒	三段	水島 三郎	19
先鋒	三段	塚原 良次	21
補欠	三段	黒川 明宥	20

阪急電鉄

監督	三段	柏谷 藤兵衛	47
大将	四段	秋山 勇	41
副将	六段	酒井 清	40
中堅	四段	竹越 元宏	28
次鋒	初段	吉原 毅	23
先鋒	二段	西本 隆旨	19
補欠	三段	広瀬 昭男	35

凸版印刷

監督		門脇 十一郎	40
大将	五段	今井 康中	23
副将	四段	斎藤 光広	24
中堅	四段	田口 剛生	24
次鋒	三段	登坂 野治	33
先鋒	三段	杉本 実	22

千代田化工建設

監督	七教	室井 正基	56
大将	七錬	野正 豊稔	35
副将	三段	大森 英彦	23
中堅	六錬	小柳 喜三郎	41
次鋒	五段	福島 正昭	23
先鋒	四段	松田 光明	21
補欠	五段	加藤 幸濡	41

朝日新聞（大阪）

監督	七教	畠 利雄	55
大将	六教	近藤 晋一郎	46
副将	六教	野村 正辰	45
中堅	五段	川畑 俊夫	38
次鋒	五段	脇 昭成	35
先鋒	四段	宮原 昭三	34
補欠	三段	中川 由晴	33

住友化学（新居浜）

監督	六段	目野 工	44
大将	七教	浜野 清一	48
副将	六錬	山中 満徳	48
中堅	六教	高橋 実	44
次鋒	六錬	新名 強	36
先鋒	五錬	白石 益一郎	38
補欠	三段	前田 和哉	35

四国自動車部品

監督	八教	川口 梶太郎	64
大将	七教	俣野 武生	52
副将	六錬	白石 重保	43
中堅	五段	福原 達	23
次鋒	四段	小川 隆則	22
先鋒	三段	竹下 和人	22
補欠	三段	小林 誠	25

高崎製紙

監督		中山 秀雄	45
大将	七教	鶴海 庄太郎	51
副将	六教	高津 進	47
中堅	五段	北条 勝晤	36
次鋒	二段	鈴木 精二	18
先鋒	二段	高野 太吉	23
補欠	二段	小林 桂一郎	27

藤田組

監督	四段	坂井 信夫	37
大将	六錬	梅原 大介	39
副将	六錬	田中 秀雄	37
中堅	六錬	片淵 勇士郎	38
次鋒	五錬	大槻 三郎	41
先鋒	六錬	谷口 昌二	38
補欠	五段	奥田 信男	38

三菱化成（黒崎）

監督	六教	長野 弘道	48
大将	七教	嶽崎 操	43
副将	六教	平永 肇	38
中堅	四段	小杉 信太郎	24
次鋒	三段	鈴木 公喬	19
先鋒	二段	藤岡 銘洋	18
補欠	三段	上野 茂章	24

名鉄百貨店

監督	五段	竹田 稔	38
大将	五段	和田 伊功	30
副将	三段	山崎 正一	27
中堅	四段	中川 武徳	29
次鋒	初段	鴨下 護	20
先鋒	二段	田中 九州男	30

森下仁丹

監督	五段	森下 泰	40
大将	五段	森下 泰	40
副将	四段	山名 恵哉	38
中堅	六段	川上 岑志	26
次鋒	四段	三戸 譲治	27
先鋒	三段	池田 英夫	20
補欠	二段	藤本 二郎	32

朝日石綿

監督	七教	後藤 義雄	47
大将	七教	後藤 義雄	47
副将	三段	内田 忠正	19
中堅	四段	川口 貞夫	20
次鋒	五段	大塚 知明	33
先鋒	三段	堀内 秀雄	20
補欠	四段	矢島 博	33

三菱商事

監督	三段	神谷 衛	35
大将	三段	愛沢 福司郎	35
副将	四段	上野 晏嗣	27
中堅	四段	竹内 淳	26
次鋒	四段	中田 欽也	25
先鋒	三段	安江 治人	25
補欠	三段	福井 芳虎	35

島津製作所

監督	五段	大隅 六造	46
大将	六錬	佐藤 次雄	43
副将	六錬	井上 義虎	47
中堅	六錬	松本 精一	46
次鋒	三段	三好 富士男	37
先鋒	四段	北原 四郎	37
補欠	二段	小早川 修	32

石川島播磨重工業

監督	四段	榎本 敏彦	48
大将	四段	飛田 仁一	38
副将	四段	佐藤 義蔵	38
中堅	三段	藤原 隆則	21
次鋒	三段	高橋 騏一郎	23
先鋒	四段	塚本 範生	33
補欠	二段	岩佐 紀正	22

伊藤忠

監督	二段	木下 喜夫	48
大将	五段	富重 新一郎	38
副将	五段	大原 一善	37
中堅	五段	三宅 康博	37
次鋒	三段	郡 啓次	21
先鋒	三段	松居 幸雄	34
補欠	三段	山尾 征男	23

南光印刷

監督	七教	市川 嘉一	43
大将	七教	市川 嘉一	43
副将	三段	大橋 捷二	19
中堅	三段	鈴村 欽彦	21
次鋒	二段	石田 直行	18
先鋒	三段	後藤 勲男	21
補欠	三段	山田 大機	20

神戸銀行

監督	七教	乙藤 春雄	56
大将	七教	工藤 篤	41
副将	六錬	西中 喜八郎	40
中堅	五錬	藤原 健一郎	40
次鋒	三段	川端 雅幸	24
先鋒	三段	野下 睦夫	22
補欠	六教	浅川 喜男	50

菊水テープ

監督	五段	西沢 利雄	50
大将	七教	本田 留五郎	50
副将	七教	山口 薫	42
中堅	五段	西沢 利雄	50
次鋒	五段	西沢 袈裟人	43
先鋒	五段	神田 正明	24
補欠	六段	伊藤 竜太郎	38

日本製鋼所（広島）

監督	五段	森永 隆治	42
大将	五段	石原 興一	37
副将	初段	幸田 幹史	22
中堅	二段	大森 清	21
次鋒	三段	広兼 隆充	24
先鋒	三段	石井 一正	31
補欠		玉井 英昭	20

揖斐川電工

監督	五段	蔵本 雅太	39
大将	六錬	和田 栄太郎	42
副将	五段	蔵本 雅太	39
中堅	六錬	西脇 三郎	36
次鋒	五段	川地 敏郎	33
先鋒	五錬	安藤 文夫	36
補欠	三段	服部 正己	22

東芝電気（三重）

監督		久保田 貞夫	51
大将	五段	野中 定男	39
副将	五段	山中 賢一	39
中堅	四段	辻 道夫	39
次鋒	三段	村瀬 昌三	20
先鋒	二段	稲垣 宜昭	20
補欠	二段	斎藤 茂	24

日立製作所（本社）

監督	六段	厚母 太郎	46
大将	六段	佐藤 伊哉	36
副将	五段	石野 孝男	37
中堅	四段	西村 肇生	27
次鋒	四段	小川 栄男	25
先鋒	三段	阿部 富八	23
補欠	四段	柿内 宏敏	36

PLゴルフ場

監督	七教	千原 真胤	47
大将	七教	千原 真胤	47
副将	七教	上辻 熊夫	41
中堅	六錬	山本 清利	39
次鋒	四段	上田 幸吉	25
先鋒	二段	木村 修一	18
補欠	三段	相河 剛造	20

平和相互銀行（巣鴨）

監督	五錬	持田 国雄	47
大将	五段	浅野 裕	24
副将	四段	青柳 尚忠	24
中堅	四段	川瀬 能男	21
次鋒	五段	山崎 辰男	22
先鋒	三段	川上 一夫	19
補欠	三段	広田 宏二	21

三井鉱山（田川）

監督	六段	池田 欽礼	39
大将	六段	池田 欽礼	39
副将	六段	藤田 政明	35
中堅	六段	中村 武昭	35
次鋒	四段	大田 行俊	22
先鋒	五段	佐々木 新二	24
補欠	六段	小椿 春三	41

シモン皮革

役職	段位	氏名	年齢
監督	七教	岡田 吉之助	46
大将	七教	利岡 和人	48
副将	六錬	照井 寅雄	36
中堅	六錬	大塚 敬彦	27
次鋒	五段	笹 重	26
先鋒	五段	田口 安夫	22
補欠	七教	針金 庸夫	51

九州電力

役職	段位	氏名	年齢
監督	七教	山本 太一郎	43
大将	七教	山本 太一郎	43
副将	六錬	崎永 信義	39
中堅	五錬	西村 守二	37
次鋒	五錬	無津呂 福美	36
先鋒	二段	山下 逸郎	20
補欠	五錬	山田 迪彦	33

鹿島建設

役職	段位	氏名	年齢
監督	六錬	村上 鉄二	37
大将	六錬	金子 成克	40
副将	五段	恩田 四郎	23
中堅	三段	島田 稔	20
次鋒	二段	花村 幸作	18
先鋒	三段	吉柳 尚徳	20
補欠	三段	本田 裕	24

安田火災海上

役職	段位	氏名	年齢
監督	六教	三沢 正	54
大将	六教	三沢 正	54
副将	七錬	植草 恒雄	49
中堅	五教	榎本 和男	47
次鋒	六教	石崎 巌	48
先鋒	三段	田崎 正	42
補欠	二段	鶴見 正一	32

西日本相互銀行

役職	段位	氏名	年齢
監督	四段	二島 弥之助	50
大将	六錬	浜 清人	40
副将	五錬	藤井 勝	38
中堅	五段	緑川 紀彦	22
次鋒	五錬	高村 哲夫	45
先鋒	四段	池田 広志	21
補欠	五段	藤多 靖男	23

住友海上火災

役職	段位	氏名	年齢
監督	四段	工藤 良憲	42
大将	七段	岡田 英敏	37
副将	五段	上田 義比古	27
中堅	二段	佐藤 宗典	34
次鋒	三段	室本 健治	22
先鋒	三段	村田 竹司郎	21
補欠	初段	柄木田 邦男	24

新三菱重工（名古屋）

役職	段位	氏名	年齢
監督	三段	河内 宗一	35
大将	四段	林 義雄	23
副将	二段	福井 博章	21
中堅	三段	上北 靱也	25
次鋒	三段	野田 勝也	23
先鋒	二段	近藤 功治	19
補欠	二段	斎藤 勝	19

朝日生命（研修所）

役職	段位	氏名	年齢
監督	七教	森山 亮佶	46
大将	五段	酒井 守男	25
副将	四段	大塚 仲夫	24
中堅	五段	鎌田 吉郎	25
次鋒	五段	降矢 章成	23
先鋒	四段	水戸部 浣	23
補欠	七教	森山 亮佶	46

山一証券

役職	段位	氏名	年齢
監督		西川 仙治	38
大将	五段	小西 桃一	26
副将	四段	中村 召二	22
中堅	四段	林 勇治	23
次鋒	四段	佐伯 博之	28
先鋒	三段	松井 由克	19
補欠	三段	島田 睦	26

住友化学（菊本）

役職	段位	氏名	年齢
監督	四段	越智 文也	40
大将	六段	高橋 広延	37
副将	五段	矢野 喜美雄	42
中堅	四段	真木 竹雄	38
次鋒	初段	川口 美道	20
先鋒	初段	高橋 忠行	19
補欠	初段	岡田 守正	19

トヨタ自動車

役職	段位	氏名	年齢
監督	四段	畔柳 幸雄	37
大将	四段	巻島 英雄	27
副将	四段	山本 巌	25
中堅	三段	清水 昇	21
次鋒	三段	船井 一二	22
先鋒	三段	芳賀 実	23
補欠	四段	加藤 英男	31

大成建設

役職	段位	氏名	年齢
監督	五段	今吉 清一	36
大将	五錬	塚田 正博	36
副将	五段	渡辺 瑞正	37
中堅	四段	牛島 昭夫	35
次鋒	二段	稲垣 忠嗣	20
先鋒	二段	大坂 賢治	19
補欠	四段	坂本 博之	22

東洋レーヨン（滋賀）

役職	段位	氏名	年齢
監督	七教	野口 英夫	51
大将	五錬	白井 教雅	24
副将	五段	戸田 忠男	23
中堅	四段	幡川 良男	22
次鋒	四段	馬場 弘毅	21
先鋒	三段	竹下 耐	20
補欠	四段	板垣 誉志美	22

松下電器（門真）

役職	段位	氏名	年齢
監督	三段	藤本 鉄也	29
大将	五段	改田 善次郎	41
副将	三段	蔵前 修	25
中堅	二段	芝本 三郎	20
次鋒	三段	森田 忠彦	20
先鋒	三段	堀内	19
補欠	四段	深田	34

久保田鉄工

役職	段位	氏名	年齢
監督	六教	伊集院 正	53
大将	五段	西川路 繁	39
副将	五段	藤久保 忠男	36
中堅	五段	岡本 勇	35
次鋒	五段	入江 孝美	23
先鋒	三段	重岡 隆	25
補欠	五段	松賀 恒夫	38

八幡製鉄（光）

役職	段位	氏名	年齢
監督	三段	丁子 義治	37
大将	六錬	矢野 裕	37
副将	五錬	松田 勉	36
中堅	五錬	橋本 幸夫	35
次鋒	五錬	後藤 菊三	35
先鋒	三段	和泉 完二	20
補欠	六錬	上野 裕史	40

東芝電気（本社）

役職	段位	氏名	年齢
監督	六教	押原 一郎	47
大将	四段	高橋 英治	46
副将	五錬	工藤 能己	40
中堅	三段	田中 忠孝	23
次鋒	三段	里吉 実	24
先鋒	三段	小沼 正宏	19
補欠	四段	野本 寿	42

宇部興産

役職	段位	氏名	年齢
監督	五錬	木村 憲治	45
大将	七教	津脇 良夫	41
副将	六錬	山本 茂	42
中堅	四段	島津 静治	22
次鋒	六錬	陶山 武光	34
先鋒	四段	中野 浩甫	23
補欠	三段	竹下 邦夫	21

新三菱重工（神戸）

役職	段位	氏名	年齢
監督	五段	植田 稔	45
大将	六錬	矢木 礼一	46
副将	四段	岡本 勲	33
中堅	三段	岡尾 徳郎	39
次鋒	三段	前田 勝次	35
先鋒	三段	浜野 一兵	18
補欠	三段	栗山 博行	28

鈴江農機

役職	段位	氏名	年齢
監督	五段	橋本 国雄	37
大将	五錬	川田 茂宏	37
副将	二段	山崎 護	20
中堅	二段	門田 豊	20
次鋒	二段	浜田 安雄	23
先鋒	三段	河野 功	23
補欠	五段	橋本 国雄	37

丸善石油（大阪）

役職	段位	氏名	年齢
監督	七教	宮崎 次郎	49
大将	七教	宮崎 次郎	49
副将	六教	志村 盛弥	40
中堅	五錬	藤田 吾郎	26
次鋒	五段	帖佐 友教	35
先鋒	四段	高畠 理	21
補欠	五段	嶋田 清太	34

日本生命

役職	段位	氏名	年齢
監督	五錬	山本 登	41
大将	七教	宮地 誠	41
副将	五段	田中 敬一	39
中堅	四段	村上 四郎	41
次鋒	三段	中島 仲二	23
先鋒	三段	竹中 正	23
補欠	三段	吉岡 隆一	21

神戸製鋼所

役職	段位	氏名	年齢
監督	四段	奥村 三郎	48
大将	五教	岡本 正次	46
副将	五段	高嶋 恵次	42
中堅	四段	徳永 忠一	35
次鋒	三段	間島 敏公	21
先鋒	三段	堂守 忠男	18
補欠	三段	田上 逸郎	22

名古屋鉄道

役職	段位	氏名	年齢
監督	二段	山崎 文雄	38
大将	四段	杉山 孝雄	37
副将	三段	清水 達郎	23
中堅	四段	山瀬 弘	23
次鋒	二段	牧野 義範	22
先鋒	二段	川角 五郎	19
補欠	二段	安藤 繁雄	19

東横

役職	段位	氏名	年齢
監督	六錬	山口 彰市	36
大将	四段	佐藤 功男	24
副将	五段	大沼 三喜	22
中堅	五段	鵜野 寿夫	24
次鋒	三段	喜多山 修二	22
先鋒	四段	関谷 恒	21
補欠	三段	佐藤 祐吾	21

横浜護謨

役職	段位	氏名	年齢
監督	七段	田島 次男	38
大将	五段	長谷川 俊雄	42
副将	三段	反町 利政	39
中堅	三段	岩見 幸夫	22
次鋒	二段	原田 久馬	20
先鋒	二段	岩辺 公孝	19
補欠	二段	吉田 豊祐	24

日本通運（本社）

役職	段位	氏名	年齢
監督	五段	大津 隆彦	22
大将	五段	和田 浩嗣	24
副将	五段	藤田 博三	24
中堅	五段	矢上 徳	24
次鋒	四段	北野 良夫	26
先鋒	五段	奥村 金八郎	22
補欠	五段	飯塚 誠	22

高島屋（大阪）

役職	段位	氏名	年齢
監督	五錬	岸本 昇市	50
大将	六錬	田中 政吉	45
副将	六錬	大島 英晴	40
中堅	五錬	内田 仙郎	50
次鋒	五段	宇佐美 尚	31
先鋒	二段	里田 士郎	19
補欠	三段	増山 重彦	22

九州産交

役職	段位	氏名	年齢
監督	錬士	五野 陸郎	43
大将	六錬	浜口 政稔	42
副将	五段	中山 耕吉	27
中堅	五段	村上 優	23
次鋒	三段	永友 寛二	19
先鋒	五段	田中 英明	23
補欠	五段	本山 正己	45

三井鉱山（三池）

役職	段位	氏名	年齢
監督	七錬	藤崎 光次	49
大将	七教	塚越 誠	49
副将	七教	宮崎 賢一	35
中堅	六錬	古庄 盛真	36
次鋒	六錬	河口 節喜	34
先鋒	六錬	橋本 純一	35
補欠	六錬	山下 豊記	38

日立製作（日立）

監督	教士	菊池辰雄	40
大将	四段	沢海明弘	22
副将	三段	山崎末美	21
中堅	四段	永山国幸	19
次鋒	三段	窪田肇	18
先鋒	四段	小池隆	19
補欠	四段	野沢正志	19

安田生命

監督	四段	佐藤勤	44
大将	三段	和田精逸	40
副将	四段	小沢詮充	25
中堅	四段	鶴本隆久	25
次鋒	二段	島田智行	23
先鋒	三段	徳沢弘康	18
補欠	二段	宿野健一	23

朝日新聞（東京）

監督	六教	渡辺礼輔	47
大将	四段	山本勇	32
副将	五段	神田博光	39
中堅	三段	中野義次正	21
次鋒	三段	杉井貞夫	21
先鋒	三段	鈴木治夫	22
補欠	四段	渡辺茂次	41

阪急百貨店

監督	七教	仲井巌	
大将	五錬	安保嘉臣	44
副将	六錬	須鎗脩	33
中堅	四段	谷口宏雄	43
次鋒	五段	中野裕次	23
先鋒	五段	井上弘一	26
補欠		石井武	26

武田薬品

監督	五錬	花田保一	50
大将	五段	豊川昇	28
副将	四段	大野善成	35
中堅	四段	本木下幸一	38
次鋒	三段	大西実	22
先鋒	三段	土屋哲弘	19
補欠	四段	松原輝雄	34

住友化学（大阪）

監督	三段	吉田英寛	52
大将	六錬	土井秀夫	40
副将	六錬	丸川泰生	34
中堅	五錬	山田政男	37
次鋒	五段	石合肇	36
先鋒	二段	平井武彦	19
補欠	三段	末房浩道	39

江商

監督	二段	山崎三代治	39
大将	五段	中西信雄	44
副将	五段	田子清	41
中堅	四段	宮島隆	36
次鋒	四段	宮崎和典	24
先鋒	二段	吉川宗雄	26
補欠	三段	福井文吾	37

東洋レーヨン（岡崎）

監督	三段	水野徹	27
大将	三段	久保嗣一	22
副将	三段	見山竜一	22
中堅	三段	工藤忠男	19
次鋒	三段	斎藤輝雄	18
先鋒	三段	三浦康弘	18
補欠	二段	夏目宏紀	26

旭化成（延岡）

監督	六錬	鉾之原勝美	35
大将	六錬	鉾之原勝美	35
副将	五段	桑原哲明	23
中堅	五段	一川英機	23
次鋒	五段	高橋彰一郎	24
先鋒	五段	手島純一郎	25
補欠	四段	田中昌穂	28

第一生命

監督	七教	三浦泰治	55
大将	三段	兜木総一	40
副将	三段	村勢楠太郎	40
中堅	五段	磯部雄哉	28
次鋒	三段	有馬八郎	29
先鋒	四段	奥野義朗	29
補欠	四段	高田耕太郎	40

川鉄建材

監督	三段	吉村清	24
大将	四段	難波明治	22
副将	四段	松田睦男	22
中堅	三段	杉山里美	21
次鋒	三段	中尾純三	22
先鋒	三段	河原金男	20
補欠	三段	吉村清	24

東洋レーヨン（愛知）

監督	六段	鈴木種次	50
大将	六段	近藤常郎	34
副将	四段	犬飼忠男	25
中堅	四段	鈴木大丈	24
次鋒	三段	小幡一宏	23
先鋒	三段	岩崎克己	21
補欠	三段	河合賢	23

N・B・C呉造船

監督	五段	松野光春	39
大将	五段	松野光春	39
副将	四段	竹元末男	24
中堅	三段	元島憲一	37
次鋒	二段	平賀正幸	34
先鋒	二段	辻邦行	28
補欠	三段	佐々木輝	43

八幡製鉄所

監督	六錬	坂口松次	51
大将	七錬	坂田善文	37
副将	五段	臼井士郎	21
中堅	五段	神民也	21
次鋒	三段	川上豊	20
先鋒	二段	広田豊	19
補欠	四段	中孝文	20

三菱造船

監督	二段	岸田千之	51
大将	七教	渡部登	48
副将	五段	古賀芳一	39
中堅	六段	寺本勉	39
次鋒	五段	中村吏郎	39
先鋒	五段	森繁美	32
補欠	三段	藤井進	39

日本郵船

監督	二段	高梨正夫	49
大将	二段	古庄来靍	39
副将	二段	小川昭人	35
中堅	二段	山田秀哲	34
次鋒	三段	大谷幸雄	36
先鋒	二段	泉行雄	36
補欠	初段	徳田迪夫	35

平和相互銀行（本社）

監督	六錬	福山清隆	42
大将	六錬	豊島敬	37
副将	三段	蔭山盛久	23
中堅	三段	和田幸雄	21
次鋒	三段	戸田一	21
先鋒	三段	渡辺昇	22
補欠	四段	佐々木公大	22

朝日生命（本社）

監督	六錬	山田好数	40
大将	四段	伴野忠男	23
副将	四段	下妻力	23
中堅	三段	岩崎巌	22
次鋒	三段	緑川勝利	20
先鋒	三段	鈴木康隆	18
補欠	三段	岩田俊雄	19

石川島播磨重工業（相生）

監督	六段	竜野邦人	50
大将	六段	蔭方夏美	36
副将	五段	香山秀一	36
中堅	五段	名古寿嘉	36
次鋒	四段	久山辰雄	37
先鋒	四段	江見正昭	27
補欠	五段	笹岡幸雄	38

東洋レーヨン（三島）

監督	三段	佐々木勇吉	38
大将	三段	勝又衛	23
副将	三段	飯塚才司	21
中堅	三段	山形泰一	20
次鋒	三段	吉田武司	19
先鋒	三段	佐々木和勇	21
補欠		花田孝司	21

東京電力

監督	六教	宮本健次	40
大将	六錬	高山善実	39
副将	五錬	鈴木猛雄	37
中堅	五錬	伴幹	41
次鋒	五段	中山信尚	38
先鋒	三段	鵜野税	20
補欠	三段	菊地武雄	19

住友化学（大江）

監督	四段	近江一郎	45
大将	六段	永易国一	40
副将	五錬	山下実敏	39
中堅	五段	田村照雄	35
次鋒	四段	近江一郎	45
先鋒	三段	越智清勝	37
補欠	二段	宇野芳樹	24

倉敷レイヨン（岡山）

監督	四段	岡新	34
大将	五段	小倉太郎	27
副将	五段	藤井昇	35
中堅	四段	斎藤莞	22
次鋒	三段	杉本侈	22
先鋒	三段	林愛三	21
補欠	四段	小椋昭典	33

敷島紡績

監督	六教	松本良諄	43
大将	五段	土屋次男	41
副将	四段	景山健二	24
中堅	四段	清水久行	37
次鋒	四段	田口清	24
先鋒	三段	出原正道	19
補欠	五錬	緒方春雄	42

杉田製線

監督	七教	沢井岩吉	48
大将	七教	沢井岩吉	48
副将	五錬	杉田光治	44
中堅	五錬	渡辺達良	48
次鋒	三段	片桐利和	29
先鋒	二段	生稲進	17
補欠	四段	柳沢大吉	47

川崎製鉄

監督	五段	木村賢	33
大将	五段	永井秋男	42
副将	四段	浜野勉	37
中堅	三段	阿久根一八	33
次鋒	三段	中川清	22
先鋒	二段	本惣健彦	18
補欠	四段	芳原義知	37

三菱化成（本社）

監督	四段	香川重雄	37
大将	七教	桜庭庄市	40
副将	六錬	磯部卓	36
中堅	五段	山口弘光	37
次鋒	三段	熊木誠治	20
先鋒	初段	小谷津欣望	19
補欠	四段	鈴木一	38

小西酒造

監督	七教	本荘勇	46
大将	七教	鶴野栄一	40
副将	五錬	松本肆郎	35
中堅	四段	立花芳和	24
次鋒	四段	花崎杉男	23
先鋒	三段	谷江均	19
補欠	三段	川西政成	22

松下電器（本社）

監督	五段	山沢敏夫	40
大将	四段	三好晁	23
副将	四段	三宮老	25
中堅	五段	小島定直	24
次鋒	三段	川口泰男	23
先鋒	二段	馬場祥一	20
補欠		塊内亮一	19

南海電鉄

監督	錬士	新山滋	53
大将	七教	古谷福之助	35
副将	六錬	小畑高雄	35
中堅	五段	山本泰	35
次鋒	三段	筒井義昭	30
先鋒	五段	守道英夫	24
補欠	四段	上山茂	22

第5回全日本実業団剣道大会組合せ

Aブロック

一回戦　二回戦　三回戦　四回戦　五回戦

No.	チーム	県
1	東洋レーヨン名古屋	（愛知）
2	日本火災海上保険	（東京）
3	千代田化工建設	（東京）
4	四国自動車部品	（香川）
5	三菱化成黒崎	（福岡）
6	阪急電鉄	（大阪）
7	朝日新聞大阪	（大阪）
8	高崎製紙	（群馬）
9	名鉄百貨店	（愛知）
10	凸版印刷	（東京）
11	住友化学新居浜	（愛媛）
12	藤田組	（大阪）
13	森下仁丹	（大阪）
14	朝日石綿	（山梨）
15	石川島播磨重工業	（東京）
16	神戸銀行	（大阪）
17	揖斐川電工	（岐阜）
18	PLゴルフ	（大阪）
19	三菱商事	（東京）
20	伊藤忠	（大阪）
21	菊水テープ	（大阪）
22	東芝電気（三重）	（三重）
23	平和相互銀行巣鴨	（東京）
24	島津製作所	（京都）
25	南光特殊印刷	（愛知）
26	日本製鋼広島	（広島）
27	日立製作本社	（東京）
28	三井鉱山田川	（福岡）
29	シモン皮革	（東京）
30	安田火災海上	（東京）
31	新三菱重工名古屋	（愛知）
32	住友化学菊本	（愛媛）
33	東洋レーヨン滋賀	（滋賀）
34	九州電力	（福岡）
35	西日本相互銀行	（福岡）
36	朝日生命研修所	（東京）
37	トヨタ自動車	（愛知）
38	松下電器（門真）	（大阪）
39	鹿島建設	（東京）
40	住友海上火災	（東京）
41	山一証券	（東京）
42	大成建設	（東京）
43	久保田鉄工	（大阪）
44	八幡製鉄（光）	（山口）

試合番号：一回戦 1〜12、二回戦 13〜28、三回戦 29〜36、四回戦 37〜40、五回戦 41・42

決勝 43

Bブロック

五回戦　四回戦　三回戦　二回戦　一回戦

No.	チーム	県
45	新三菱重工神戸	（兵庫）
46	日本生命	（大阪）
47	東横	（東京）
48	高島屋	（大阪）
49	東芝電気本社	（東京）
50	鈴江農機	（高知）
51	神戸製鋼	（兵庫）
52	横浜ゴム	（東京）
53	九州産業交通	（熊本）
54	宇部興産	（山口）
55	丸善石油	（大阪）
56	名古屋鉄道	（愛知）
57	日本通運本社	（東京）
58	三井鉱山三池	（福岡）
59	日立製作日立	（茨城）
60	安田生命	（東京）
61	朝日新聞東京	（東京）
62	阪急百貨店	（大阪）
63	武田薬品	（大阪）
64	住友化学大阪	（大阪）
65	江商	（大阪）
66	東洋レーヨン岡崎	（愛知）
67	旭化成延岡	（宮崎）
68	第一生命	（東京）
69	川鉄建材	（兵庫）
70	東洋レーヨン愛知	（愛知）
71	NBC呉造船	（広島）
72	八幡製鉄	（福岡）
73	三菱造船	（東京）
74	日本郵船	（東京）
75	平和相互銀行本社	（東京）
76	朝日生命本社	（東京）
77	石川島播磨重工相生	（兵庫）
78	東洋レーヨン三島	（静岡）
79	東京電力	（東京）
80	住友化学大江	（愛媛）
81	倉敷レーヨン	（岡山）
82	敷島紡績	（大阪）
83	杉田製線	（東京）
84	川崎製鉄	（兵庫）
85	三菱化成本社	（東京）
86	小西酒造	（兵庫）
87	松下電器（本社）	（大阪）
88	南海電鉄	（大阪）

※ 内側の数字（1〜43）はすべて試合番号です。

※ A・Bブロックとも，一・二回戦（1〜28）を3試合場で行なう予定です。

過ぎし日の輝かしい戦績

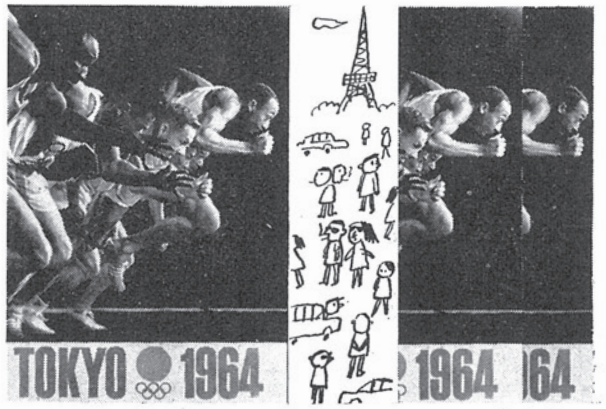
第 1 回	於　東京都中央道場			
	優勝　東洋レーヨン名古屋	二位　三井金属三池	三位　旭化成延岡 日本通運	
第 2 回	於　大阪市立体育館			
	優勝　東洋レーヨン名古屋	二位　九州電力	三位　平和相互銀行(巣鴨) 西日本相互銀行	
第 3 回	於　名古屋金山体育館			
	優勝　東洋レーヨン愛知	二位　東洋レーヨン滋賀	三位　百貨店東横 川鉄商事	
第 4 回	於　東京都日大講堂			
	優勝　東洋レーヨン滋賀	二位　平和相互(巣鴨)	三位　百貨店東横 東洋レーヨン(名古屋)	
第 5 回	於　大阪市立体育館			
	優勝	二位	三位	

優　　勝

決勝戦

準決勝戦

M E M O



●好評の第1号ポスターにひきつづき、第2号オリンピックポスターにも、凸版印刷の最高技術スタッフが動員されました。

世界の街角でスタート！

凸版印刷の新しいオリンピックポスターが、海外でも非常な注目をあつめ世界の街角で早くも東京オリンピックへの期待を盛りあげています。

—優れた技術で世界を飾るとっぱん—

凸版印刷株式会社

本　社／東京都台東区二長町1　TEL 866−2171(代)
サービスセンター／東京都中央区銀座5の5　TEL 572−0351(代)
工　場／東京〈下谷・板橋・小石川・本所〉大阪〈福島・大淀〉九州・仙台

60年の信用の店

兜印

亀田の剣道具

各学校・諸官庁　御用達

亀田武道具株式会社

大阪市東区谷町三丁目電停南入ル半丁(亀田ビル)
電話 (941) 1591・6443・8479

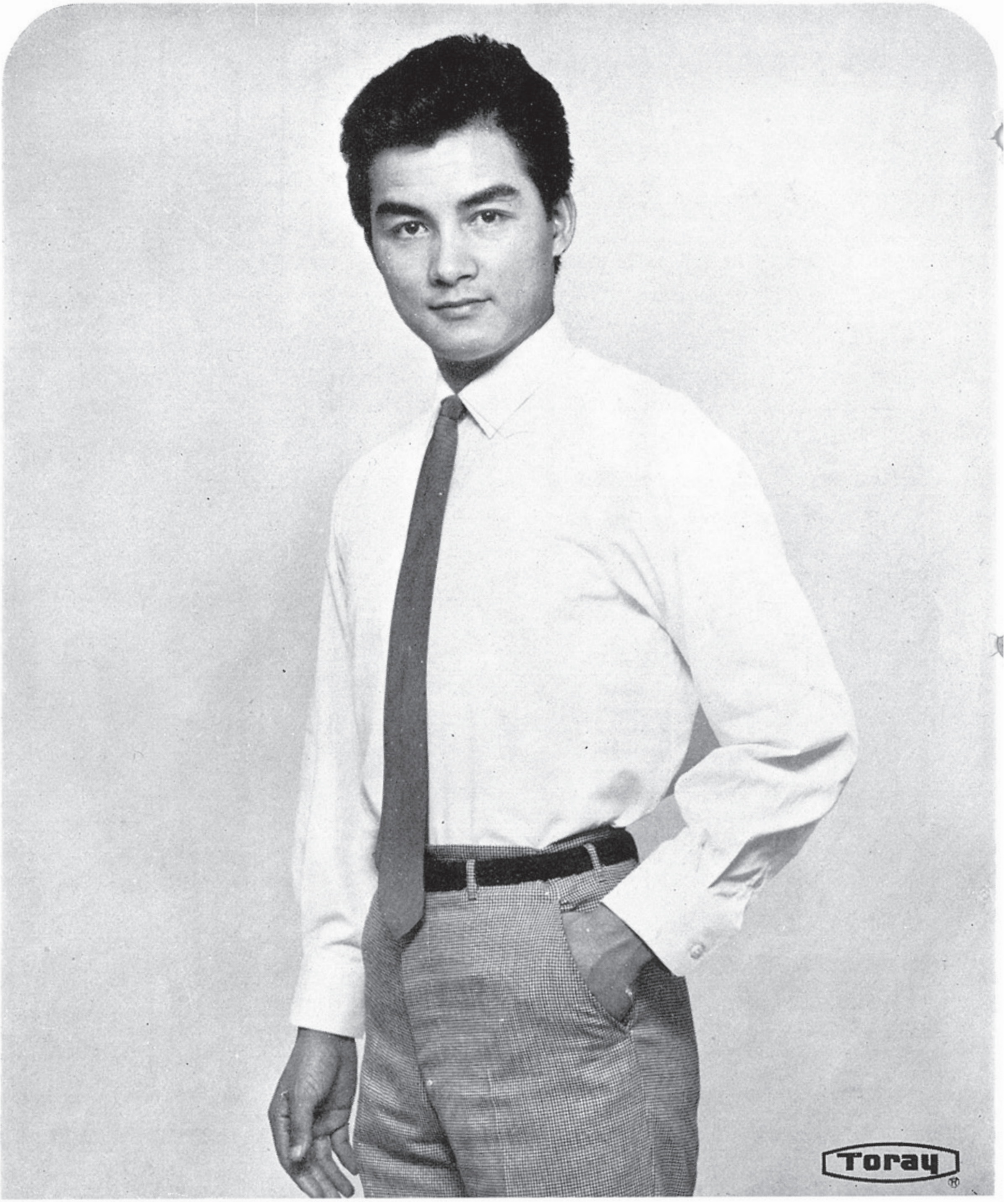
インスタント クリーニング

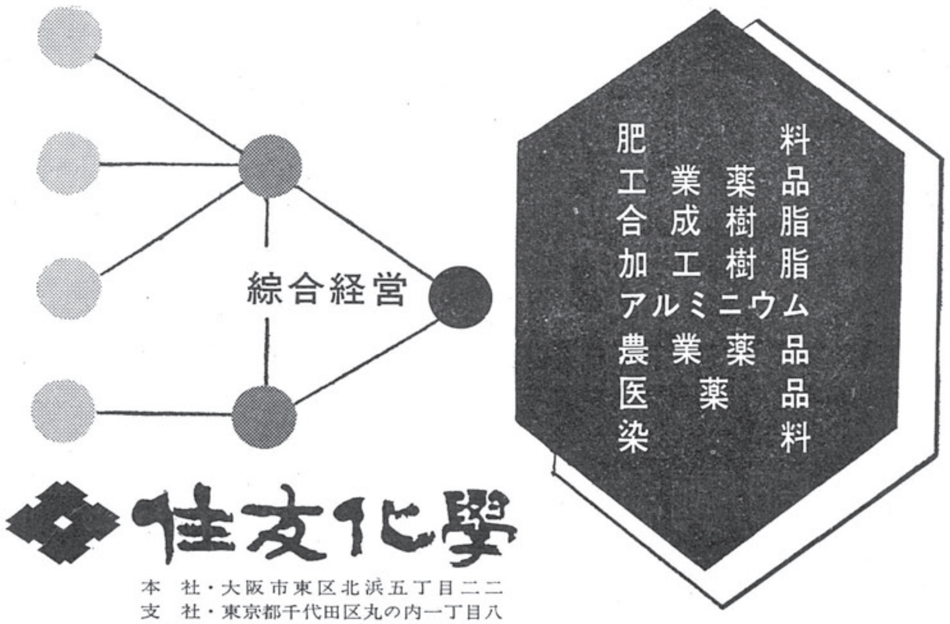
夜、洗えば、朝はカラリと乾き上がりアイロンやノリつけなしで、お召しになれます。クリーニングに出すヒマも、費用も要りません。東レ・テトロンを65%以上混紡しているので、テトロンのハタラキが完ぺキに生かされて肌ざわりも理想的。丈夫でシワになりません。

東レテトロンシャツ EASY CARE／手のかからないせんい

●綿混 ●麻混 ●"トレコッタ" ●"テトレックス"製

東洋レーヨン株式会社





住友化學

本　社・大阪市東区北浜五丁目二二
支　社・東京都千代田区丸の内一丁目八
営業所・名古屋市中区広小路通六丁目三
工　場・新居浜、大阪、鶴崎、岡山

完璧の九櫻印

九櫻

剣道具

全国有名運動具店、及び百貨店にございます

全国諸官庁・学校・学校・諸団体御用達

早川繊維工業株式會社

大　阪　支　店

大阪市南区高津四番丁23　　電話 (211) 7265・7266番

たのしさ
ひろがる
お買物

阪急

大阪梅田本店・神戸支店
東京数寄屋橋店・大井店

印刷・凸版印刷株式会社